

ボランティアNEWS

第45号(2010年12月)

ボランティアフェスティバル(10/30)のご報告!!!

その1「鹿角ストラップ作り」&「泥めんこ遊び」～文化財課

文化財課からは「鹿角ストラップ作り」と「泥めんこ遊び」の2つのコーナーを出展し、職員と4人のボランティアさんで運営しました。開始と同時に学校団体のこどもたちが元気よく訪れ、いきなりの大賑わいとなりました。

「鹿角ストラップ作り」では、小さくカットした鹿角片とビーズで古代風のストラップを作ってもらいました。「鹿の角は年に一回自然に落ちて生え変わるんよ。」「昔の人も鹿の角でアクセサリや釣り針を作ったんよ。」と制作の合間に話をすると、こどもたちは興味深そうに手元に配られた鹿角片を観察していました。角のついた鹿の頭の骨格標本も持参し、角の形や生え方などを見て触れて感ぜてもらいました。



「泥めんこ遊び」では、素焼きのめんこを使った二つの遊びを体験してもらいました。その一つ「けし」は、二人以上で交互にうずまきの形のまるとに向かってめんこを投げ、中心に近いところに置いた方が勝ちという遊びです。めんこ遊びそのものの経験がないこどもたちも多く、ボランティアさんがお手本を見せると、意外に簡単そう!と思った様子。ところがいざ挑戦してみると、めんこはまるとを通り過ぎてコロコロ…。気づけば、ああでもない、こうでもないと思

う投げ方を工夫して「もう一回やる!」とすっかりはまった様子。泥めんこ遊びが流行した江戸時代のこどもたちがきっとそうであったように、自



分の投げためんこの行方に一喜一憂し、大はしゃぎで楽しんでいました。

いずれのコーナーも、次から次へと参加者が訪れ、ボランティアさんには座る間もなく対応していただきました。そのような状況でも、笑顔絶やすことなく参加者と触れあい、生き活きと活動されている姿は、会場を訪れた多くの人に、ボランティア活動の楽しさを知っていただくきっかけになったと思います。参加していただいたボランティアさん、本当におつかれさまでした！（文化財課 田原）

その2 恒例のバウムクーヘン・一銭洋食づくり～郷土資料館



郷土資料館の担当ブースは、いつものようにバウムクーヘンと一銭洋食作りでした。科学の祭典との同時開催ということで、どのぐらいのお客様が参加されるかなかなか想定できなかったのですが、さすが食べ物関連のブースは強く、とくに午前中の学校団体の来場もあって、結果的には単独で開催した時よりはるかににぎわったように思います。一銭洋食は余裕を見て材

料を準備したつもりなのですが、終了1時間前には材料切れで店じまいとなってしまいました。ずっと立ちっぱなしで指導して下さったボランティアさん、とくに急きょ広島城から助っ人に来ていただいた方々にお礼申し上げます。これを機会に郷土資料館でもどんどん活動していただければうれしいです。

（郷土資料館 大室）

その3 くずし字のしおり作り～広島城

この日は寒くなるとの予想に反し汗ばむほどのぼかぼか陽気で、いっぱい着込んだり、カイロをしのばせて後悔した方が続出でした。広島城のコーナーは「くずし字でしおりを作ろう」。切れ目なく子どもたちが参加してくれて盛り上がりしました。

まず自分の名前のくずし字をさがし、お手本を見て台紙に鉛筆で下書きします。みんなの目は真剣そのもの！！小さな子もお手



本とにらめっこしながら一生懸命書いていました。筆ペンで清書して、色鉛筆やマジックで思い思いに

模様を描いて、最後にリボンをつけたら世界で一つのオリジナルしおりの出来上がり。

「クネクネでむずかしいよ。」「昔の字っておもしろいね。」と会話も弾んでいました。



ほとんど立ちっぱなしで、休む暇もなかったのでお疲れだったと思いますが、みなさん笑顔で対応してくださいました。逆に「こどもたちから元気がもらえますよー」と張り切っておられました。そう！こどもってパワーと刺激をいっぱいくれるんですよね。若返りのためにも、是非またやりましょう。(広島城 岡野)

学校団体の対応にチャレンジしていただきました～郷土資料館



洗濯板を使って洗濯体験

かねてよりボランティアの皆さんに参加していただいたことに、小学校団体の対応があります。9月から11月にかけて、郷土資料館に毎日のように訪れ、ほとんどの場合展示案内や体験学習を希望されます。これまでは職員のみで対応していたのですが、ここに参加していただければ活動の場がもっと広がるのに、と思っておりました。普段からよく来館されている方にご相談したら、快くお引き受けいただいたので、今年から始めてみることにしました。最初のうちは職員がサポートしていたのですが、すぐに1担当者としてお任せできるようになったばかりでなく、ご自分の体験や勉強されたことを積極的に盛り込むことで、説明内容にぐんと幅ができました。子どもたちにも大変好評です。まだまだ試行錯誤ですが、さらに充実したものにしていきたいと考えております。興味のある方は遠慮なくお問い合わせください。(郷土資料館 大室)

フードフェスティバルにおけるボランティア活動～広島城

去る10月30日・31日に史跡広島城一帯で「ひろしまフードフェスティバル」が開催されました。例年行われるこのイベントで人気なのが、堀を櫓伝馬で遊覧する「参上！櫓伝馬」です。今年は広島県庁櫓伝馬倶楽部と竹原市櫓伝馬倶楽部の女性部員が漕ぎ手となり、漕ぐ舟はその名も「鯉姫」「かぐや姫」！華やかな雰囲気で行われました。

この遊覧はいつもと違う視点から広島城を見ることが出来る絶好の機会です。今年はただ遊覧するだ

けでなく、城のガイドを合わせて行いたいと広島城に依頼があり、三館合同ボランティアでお手伝いをする事になりました。乗船前にお待ちになっているお客さんに広島城の歴史を舟の上では水上ならではの内容でお話をしました。31日はあいにくの雨になってしまいましたが、乗船のお客さんに喜んでいただけたほか、ボランティアさんたちにとっても楽しいひとときになったようです。(広島城 本田)



堀を行く「鯉姫」号。赤いユニフォームは広島県庁権伝馬倶楽部のみなさん。↓がボランティアさん。



舟に乗る前に、お客さんに広島城の歴史について紙芝居で案内しています。

募集しま〜す！

1 研修会のご案内 ※事前に担当施設にご連絡ください。

12月の研修会の募集は締めきりました。

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください！

※事前に担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場 (担当施設)
12/5(日) 9:30~16:00	2010 心身障害者福祉センター文化祭 「はたおり体験」	コースター作りの指導 ※一部の時間だけでもかまいません。	東区 心身障害者福祉センター (文化財課)
12/18(土)・19(日) 13:00~15:00	教室事業 「もちつき体験」	もちつき体験の指導	郷土資料館
1/8(土)・9(日) 13:00~15:00	教室事業 「まゆ玉うさぎづくり」	まゆ玉を使ったうさぎづくりの指導	郷土資料館

広島城

担当/本田・玉置

TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519

メールアドレス 本田 honda@rijo-castle.jp 玉置 tamaki@rijo-castle.jp

ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>

郷土資料館

担当/大室・山縣・前野

TEL 082-253-6771 FAX 082-253-6772

メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/>

文化財課

担当/田原・荒川

TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513

メールアドレス 田原 tahara@mogurin.or.jp

ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>